

# 天白川 遊ぼう マップ



このマップは、市内の中央を流れる天白川とその支流について、そこでの楽しみ方やさまざまな魅力を紹介し、遊びなどを通じ、はだで感じるにより日進の自然環境について考え行動するきっかけになることを願い作成いたしました。

日進市

平成19年3月 発行

## 川での遊び方

<p>魚釣り</p>	<p>よつであみ と 四手網で魚捕り</p>
<p>タモで魚捕り</p>	<p>石で水切り</p>
<p>ギヤマン<sup>※</sup>で魚捕り</p>	<p>※ギヤマン 透明なガラス製で、中にえさを 入れ、水の中に沈めて魚を 捕る道具。(愛知県漁業調整規則に より試験、研究等の目的以外の使用は禁 止されています。)</p>
<p>じゆだまかざ 数珠玉飾り</p>	<p>くさきすも 草木相撲</p>

## 昭和30年代頃まで使われていた漁具

<p>うげ(主にドジョウを捕る道具) 竹を編んで作ったもので、田んぼの水の落ち口に仕掛け、下から登ってくるドジョウが自然に入るようになっていました。</p>	<p>つぎうげ(池のコイやフナを捕る道具) 9月下旬頃、溜池の水を抜き、村中の人が集まり池の魚を捕りました。つぎうげは取っ手を持ち、振り上げ池の中に突き下ろし、コイなどの大型の魚を捕まえました。</p>
<p>ドジョウ籠(主としてドジョウを捕まえる道具) 田んぼの水溜まりの泥の中に潜っているドジョウを足で泥と一緒に籠に追い込み捕まえました。</p>	<p>みち 箕口(池や川でコイなどの大型の魚を捕まえる道具) 大型のタモアミで箕によく似た形の網です。池や川の深いところ(1m位)を押し歩きコイなどを捕まえました。</p>
<p>火振り(主に田んぼや池でウナギ、ドジョウを捕る道具) 夏の夜、田んぼの畦ざわや池、川の水ざわにひそんでいるウナギ、ドジョウをアセチレンガス灯でさがし、タタキを振り下ろして先の串形の針に突き刺し捕まえました。</p>	

## 天白川の昔と今 ~昔~ (昭和40年代以前)

<p>農業用水</p>	<p>日進の田んぼでは上流は溜池、中下流では天白川から水を取り入れていました。</p>
<p>生活用水</p>	<p>天白川の水を取り入れた農業用水路を利用して野菜の土洗い(後で井戸水で洗う)や、農具の土洗いなどをしていました。</p>
<p>水車の動力</p>	<p>日進の各所で、天白川の落差を生かした水車のかで米つきや粉ひきが盛んに行われました。</p>
<p>遊び場</p>	<p>農業用水の堰や川の深みなどで水泳や魚捕りをして夏の間中遊んでいました。学校にプールはありませんでした。</p>
<p>小さな魚場</p>	<p>動物性蛋白質源として、ドジョウ、ウナギ、フナ、コイ、モロコ、ナマスなどの魚やシジミをとって食べました。</p>

## 天白川の昔と今 ~今~

	<p>昭和40年代に愛知用水網が整備されてからは、農業用水として利用することは少なくなりました。</p>
	<p>愛知用水水源とする上水道が日進全域に完備され生活用水として天白川の水を使うことはなくなりました。</p>
	<p>昭和20年代には日進の各地で精米所や製粉所ができました。現在はほとんどが農協で貯蔵、精米されています。</p>
	<p>小中学校にプールが完備されるとともに、川をプールがわりにして水泳をすることはなくなりました。</p>
	<p>生活様式の変化もあり、生活排水や、田んぼの農業などの影響で、ドジョウ、ウナギ、ナマス、シジミなどが減って</p>

## 天白川で見られるさかな

	<p>オイカワ(シロハエ) 天白川の代表的な魚。スマートで素早い泳ぎは清流をイメージさせてくれます。</p>
	<p>カマツカ(スナムグリ) もぐっていることが多いので、見つけにくいですが、時々タモアミに飛び込んでくれます。</p>
	<p>トウヨシノボリ(ドンコ) 淡水にすむハゼの仲間です。流れのある石の下で産卵します。子ども達に人気です。</p>
	<p>ギンブナ(マブナ) 天白川はフナにとっては全体的に浅いため数は少ないですが、冬期は群れている姿に出あうこともあります。</p>
	<p>タモロコ(モロコ) 天白川でタモアミに一番多く入るのはこの魚かも知れません。丈夫で飼育も簡単です。</p>
	<p>ナマス 6月から8月頃まで赤ちゃんナマスがとれる時期があり、子ども達の一</p>



## 天白川の水辺生物



**ギンヤンマ**  
 飛ぶのが早く捕まえるのが難しいです。幼虫(ヤゴ)が天白川にいるので育てると楽しいです。

### ハグロトンボ

黒っぽい翅をゆっくり羽ばたかせ、夏の水辺をヒラヒラと舞うこのトンボは、とても涼しげです。



**ヘイケボタル**  
 水田や水路で育つこのボタルは、今でも市内の数ヶ所で見ることができます。

### アメリカザリガニ

外来種として定着して久しいですが、今では子ども達にはすっかり人気者になりました。



**スジエビ**  
 透明で小型のエビなので弱々しく見えますが、飼育すると意外に丈夫に育ちます。

### ヒメガムシ

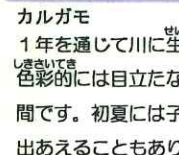
小型のゲンゴロウといった姿ですが、草食性のガムシの仲間です。よくアミ(目の細かいタモアミ)に入ります。



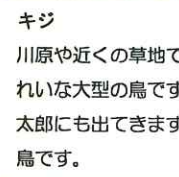
## 天白川周辺で見られる鳥



**アオサギ**  
 水辺の魚などを食べる灰色のサギで日本で一番大型です。1年を通じて見られます。

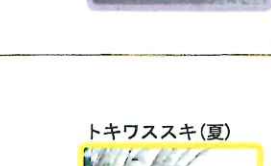
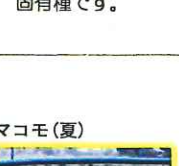
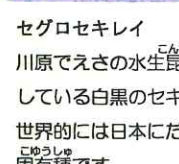


**バン**  
 少し水深のある場所で、首を前後に動かしながら泳いでいる、全身黒っぽい水鳥です。顔と口ばしが赤いです。



**キジ**  
 川原や近くの草地で見られるきれいな大型の鳥です。昔話の桃太郎にも出てきます。日本の国鳥です。

**カワセミ**  
 水中の小魚をえさとしている青い色をした小鳥です。「飛ぶ宝石」と言われるほどきれいです。



## 天白川周辺の昆虫

天白川周辺にはさまざまな植物が生え、花が咲くと蝶が舞います。水辺にはトンボが集まります。天白川はたくさんの昆虫がいる自然度の高い場所です。昆虫などの生き物をむやみに殺さないようにしましょう。



## 天白川周辺の植物

天白川の土手と川原にはたくさんの草や木が自然に生えています。四季によって生える植物が変わっていきま。写真とくらべて何の草や木かを調べてみましょう。(ヤマウルシ、ヤマハゼなどはかぶれるので注意しましょう。)

### ヘクソカズラ(春)



### オニグルミ(春)



### シロバナタンポポ(春)



### ヤブカンソウ(初夏)



### ナワシロイチゴ(初夏)



### シロバナツククサ(夏)



### タカサゴユリ(夏)



### オニユリ(夏)



### マコモ(夏)



### トキワスキ(夏)



### マルバルコウ(夏)



### アオツツラフジ(秋)



### ヤマハゼ(秋)



### ナデシコ(秋)



### セイタカアワダチソウ(秋)



### ツリガネニンジン(秋)



### ヤマウルシ(秋)



### ヒガンバナ(秋)



## 市内の河川を活動場所とする団体紹介

日進市では、河川などで活動している以下の団体があります。みなさんも活動に参加してみませんか? 各団体の活動内容、活動日、活動場所などについてはそれぞれの団体に確認して下さい。(平成19年3月 現在)

### 団体一覧

団体名	連絡先(敬称略)	活動概要
愛知中央ライオンズクラブ	73-0085(事務局)	河川清掃やボタルの放流、530運動など様々な活動を行っている。
デケティツ藤塚「新戸川にボタルを飛ばそう会」	72-2027(土方博)	ボタルの幼虫飼育・放流、カワニナの飼育、川の定期清掃など。
岩藤川でボタルを育てる会	72-0674(浅井克也)	ボタルの幼虫飼育・放流、カワニナの飼育など。
岩藤15日会「川の里親プロジェクト」	72-0674(浅井克也)	水質検査、交流事業、清掃作業、啓発活動など。
三本木川を元気にする会	72-0809(武田博之)	清掃活動やお楽しみ企画など。
天白川で楽しみ隊	72-1337(岡田あつみ)	自然観察、川遊び、ウォーキング、ごみ拾いなど。
日進岩藤川自然観察会	38-2792(鬼頭弘)	自然観察会の開催など。
日進自然観察会	73-1439(渡辺仁司)	植物、昆虫、野鳥、淡水魚の自然観察と記録など。
NPO法人つつしん市民環境ネットワーク流域元氣プロジェクト	052-804-5646(事務局)	川の大切さを学び、源流に興味を抱いてもらうなどの実践活動など。

このガイドマップに関するお問い合わせは、日進市 環境課 Tel. 0561-73-2896 (直通)

(名前)





へんしゅう  
編集にあたって

このガイドマップ作成は、天白川を中心に活動する市民の方の協力により、平成18年10月より合計10回の編集会議に、延べ75人の方に参加していただき作成いたしました。  
※無断転載などはおやめ下さい。

## 天白川を知っていますか？

天白川は、<sup>とうほくりょう</sup>東部丘陵を源流として名古屋港まで流れる全長23kmの二級河川です。昭和40年代に愛知用水が完成するまで、三本木町から西の各地区では農業用水として、利用されていました。

みなさんは天白川に行ったことがありますか？  
川にはどんな生き物がいるか知っていますか？  
川にはどんな植物があるか知っていますか？  
川は、太古の昔からずっと生きています。  
きっと多くの魚や、鳥、草や木と出会えますよ。

これからも大切にしていけるために、みんなで、川に親しみ、好きになることから始めませんか。  
さあ!!このガイドマップを持って、天白川で遊んでみましょう。

## 川に行くときに注意すること

- ◎川の中は、深いところがあったり、上流で雨が降ると急に水が増えたりするので注意しましょう。
- ◎自分のゴミは必ず持ち帰り、ほかに見つけたゴミも持ち帰りましょう。
- ◎川のなかには滑りやすいところがあるので、はきものは滑りにくいものをはきましょう。
- ◎子どもだけで行く時は、家族に声をかけて出かけましょう。
- ◎帽子をかぶって出かけましょう。
- ◎ヘビ、ハチには十分注意しましょう。



**魚釣りポイント**

・オイカワがねらいめ。

**楽しみポイント**

- ・魚とり。
- ・水遊び。
- ・水遊びをするときは、ひざより深いところに入らないでね。

**魚つりポイント**

- ・大物ねらい!
- ・コイがいるよ。

**ホテル観察ポイント**

- ・ゲンジボタルが見られるよ。







### 魚つりポイント



・オイカワがねらいめ。



### お楽しみポイント



・魚つり。  
・水遊び。  
・水遊びをするときは  
ひざより深いところに  
入らぬいでね。

### 香久山小学校



### お楽しみポイント

・いろんな魚がとれるよ。  
・深いところに入らぬ  
でね。



### お楽しみポイント

・音楽会やいちご  
観覧会などが行  
われるよ。



### 新大正橋

ホタル観覧ポイント  
・ゲンジホタルが  
見られるよ。



### 北小学校

名鉄豊田線





学校

相野山小学校

東小中学校

お楽しみポイント

・いろんな動植物が観察できるよ。

お楽しみポイント

・石の下に魚がかかっているよ。  
・川岸の草の根元にタモをつっこんでみよう。

水生生物調査ポイント

・20年以上前からの定点観測場所だよ。

ホタル観察ポイント

・川ではゲンジボタル、田んぼではヘイケボタルが見られるよ。  
・採取したホタルは持ち帰らないでね。

・岩藤新地周辺は、東部丘陵帯をみてね。

「川をきれいにしよう」の看板

例	駐車スペースあり	駐車場	バス
例	■	■	■
	■	■	■
	■	■	■

※ご使用にあたって  
このマップは川の楽しみ方を紹介するものであり、図面や写真については変更して掲載している場合があります。

